

2025年度 入学試験問題

日本史 世界史 政治・経済 数学

日本史	1～13ページ
世界史	15～37ページ
政治・経済	39～53ページ
数学	55～56ページ

注 意

- (1) 日本史、世界史、政治・経済、数学から1科目を選択し解答すること。
- (2) 解答用紙は各科目別になっている。
選択しない科目の解答用紙は、試験開始30分後に回収する。
なお、回収後は科目の変更はできない。
- (3) 解答用紙には受験番号の記入欄がそれぞれ次のようにある。
日本史……………3か所
世界史……………3か所
政治・経済……………3か所
数 学……………表面に2か所、裏面に1か所、計3か所
各箇所とも正確、明瞭に記入すること。
- (4) 解答用紙には氏名の記入欄が1か所ある。正確、明瞭に記入すること。
- (5) 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- (6) 問題紙の余白は計算に使用してもよい。
- (7) 問題紙を解体して使用してはならない。
- (8) 試験開始後、問題紙に落丁・損傷がないか確認すること。
- (9) 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

数 学

〔 I 〕 次の に適する数または式を、解答用紙の同じ記号の付いた の中に記入せよ。

- (1) k を実数とする。座標平面において、放物線

$$C_k: y = -x^2 + (k-2)x + k^4 - 2k^2$$

の頂点の座標を k を用いて表すと、(ア , イ) である。 k が実数全体を動くとき、頂点の軌跡を表す方程式は $y =$ ウ である。 $k = 1$ のときの放物線を C_1 , $k = -1$ のときの放物線を C_{-1} とおく。 C_1 と C_{-1} に共に接する直線を m とする。直線 m の方程式は $y =$ エ である。 C_1 , C_{-1} , m で囲まれた部分の面積は オ である。

- (2) n を自然数とする。数列 $\{a_n\}$, $\{b_n\}$ を

$$a_n = \frac{(n+1)(n+2)(n+3)}{n!}, \quad b_n = a_1 \times a_2 \times a_3 \times \cdots \times a_n$$

とおく。 a_n の値が整数となる n の値の最大値は カ , b_n の値が最大となる n の値は キ である。

- (3) 4 人がそれぞれ 1 つのさいころを投げたとき、4 つの出た目の合計が奇数となる確率は ク であり、4 つの出た目が 2 種類 2 つずつである確率は ケ である。

次に 4 人がそれぞれ 1 つのさいころをお互いに出た目がわからないように投げ、各自がそれぞれ確率 0.6 で出た目をそのまま申告し、確率 $0.4 \times 0.2 = 0.08$ で出た目以外の 5 つの目のいずれかを等しい確率で申告する。このとき、4 人全員が 6 の目を申告したときに、4 つの出た目がすべて 6 の目である条件付き確率は コ である。

〔 II 〕 O を原点とする座標平面上において、 $y = x^2$ で表される曲線を C とし、 C 上に点 $A(-1, 1)$ をとる。 t を $0 < t \leq 2$ を満たす実数とし、点 P を $P(0, t)$ とする。直線 AP と曲線 C の共有点のうち、点 A と異なる点を Q とおく。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 直線 AP の方程式を求めよ。
- (2) 線分 OP 、線分 AP 、および曲線 C で囲まれた部分の面積を $S_1(t)$ とおく。 $S_1(t)$ を t を用いて表せ。
- (3) 曲線 C と直線 OQ で囲まれた部分の面積を $S_2(t)$ とおく。
(2) で定めた $S_1(t)$ を用いて、 $0 < t \leq 2$ において、関数 $f(t)$ を $f(t) = S_1(t) - S_2(t)$ とおくと、関数 $f(t)$ の最大値と最小値をそれぞれ求めよ。

〔 III 〕 xy 平面において、不等式

$$\log_2(x-1) + \log_2(x-\sqrt{3}) \leq \log_8(y+\sqrt{3})^3 + \log_8(1-y)^3$$

の表す領域を D とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 領域 D を図示せよ。
- (2) 点 (x, y) が領域 D を動くとき、 $x + y$ の最大値を求めよ。
- (3) $\cos \frac{5}{12}\pi$ の値を求めよ。
- (4) 領域 D とその境界線を含めた図形を D' とする。 D' の面積を求めよ。

以下余白

